

ライフステージに応じた各団体の取組状況

項目	乳幼児期（おおむね0～5歳）	学童期（おおむね6～12歳）	思春期（おおむね13～18歳）	青年期（おおむね19～39歳）	壮年期（おおむね40～64歳）	高齢期（おおむね65歳～）
ライフステージの特徴	・食習慣や食生活のリズムの基礎を身につけるなど、生涯における発達を方向付ける重要な時期 ・食生活の基本となる味覚が形成される時期 ・五感を磨くための経験が重要な時期	・食習慣の基礎が確立する時期 ・家族そろって食事をする機会が減少し、家庭での食育機能が低下 ・食に関する関心の薄れ、孤食や朝食の欠食、食事マナーの乱れなどの問題が生じる	・生活リズムが乱れがちになる時期 ・精神的に不安定となり食事が不規則になりがち ・家庭での食育機能が学童期にも増して低下	・仕事等で生活が不規則になりがちで、朝食を食べない割合が高くなりがち ・この時期の食生活の状況が、壮年期以降の健康に大きく影響	・身体的、精神的、社会的変化を理解し、規則正しい食習慣や生活習慣を守り、健康管理に努める必要がある ・食に関する豊富な知識と経験を、家族、地域へ継承する役割を期待される	・望ましい食生活習慣を維持し、自分の健康管理に努める必要がある ・食に関する豊富な知識と経験を、家族、地域へ継承する指導的な役割が期待される
取組の方向性	規則正しい生活リズムを身につける 家族や友だちと一緒に食べることを楽しむ 楽しく食事をするためのマナーを身につける 様々な食べものを味わうことにより味覚の基礎を養う 味、色、香り、音等、楽しい食の体験を通して、食べものへの関心を引き出す	家庭と学校での生活を通し、規則正しい生活リズムを身につける 体験学習や食に関わる活動を通し、望ましい食習慣を形成する 食への興味と関心を引き出す 日常生活に必要な基礎的な調理技能を身につける	望ましい食生活習慣や食習慣を維持し、実践する力を身につける 自分の健康に関心をもち、食べものと健康の関係についての意識を高める 健全な食生活に必要な正しい知識や、自立のために必要な調理技術や調理技術の習得する 食文化や料理への関心を高め、料理づくりの楽しさを実感する 食品の生産や流通に関する意識を高める	食に関する正しい情報を選択できる能力を身につける 適正な食事量や栄養バランスの知識を習得し実践する 行事食や郷土料理、食事作法に関する知識や意識を高め実践する 家庭において子どもたちへの食育に取り組む	望ましい食生活を維持し、健康管理に努める 自分の食生活の状況と健康について考える 家庭食や行事食等を家族や子どもに継承する	規則正しい食生活を通し健康の維持に努める 行事食や郷土料理に係る豊富な知識と経験を家族や地域に継承する 人との交流により、生きがいをもち、心豊かな暮らしを目指す
教育機関	幼稚園・保育所				給食便り、学級通信等を活用した食育情報の発信	
	小学校		「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨 ・学校給食を活用した食育 ・農作業・生産体験		給食便り、学級通信等を活用した食育情報の発信	
	中学校		「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨 ・学校給食を活用した食育 ・農作業・生産体験		給食便り、学級通信等を活用した食育情報の発信	
	大学				・食堂を活用した食に関する情報の提供 ・農作業体験等の実施	
食生活改善推進員		・親子料理教室の実施	・親子料理教室の実施	・親子料理教室の実施 ・行事食や郷土料理等の伝承	・健康づくりのための知識の普及と啓発 ・行事食や郷土料理等の伝承	・健康づくりのための知識の普及と啓発
地域婦人団体			「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨 ・親子料理教室の実施	郷土料理の伝承	・心身の健康づくり	・心身の健康づくり 調理実習の実施
農業協同組合		・農業体験学習の実施 ・学校給食への協力		・農業体験学習の実施	・地産地消の推進	・郷土料理等の伝承
漁業協同組合		・漁業体験学習の実施		・漁業体験学習の実施	・魚食文化の普及と啓発	
生活協同組合		・親子料理教室の実施 ・食育体験ツアー等の実施 ・通信教育型食育プログラムの実施		・親子料理教室の実施 ・大学生協によるメールプラン事業 ・食堂通信等を活用した情報発信	・組合員と生産者の交流学習、産直交流会 ・「食のかたりべ」による情報発信	
スローフード・ジャパン			・食の源となる種の多様性の保護	・味覚教育の実施 ・生産者と消費者の交流		
みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会			・農山漁村と都市との交流	・農林漁業体験等を通じた食育活動の実施		
宮城県栄養士会	・離乳食に関する食事相談の実施			・各職域における栄養相談等の実施 ・インスタントラーメン健康と栄養セミナー ・宮城県民健康の日～健康づくり公開講座 ・ヘルスタイタル ・各種イベント等を活用した食に関する情報発信	・介護食に関する食事相談の実施	
宮城県医師会	・乳幼児検診等における指導助言等 ・食物アレルギー等に対する指導助言	・学校医における健康指導の実施	・学校医における健康指導の実施	・各種検診時における健康相談 ・メタボリックシンドローム対策等		
宮城県歯科医師会	・乳幼児歯科検診時等における指導助言	・学校歯科医による歯科保健教育の実施	・学校歯科医による歯科保健教育の実施	・歯科検診、各種イベント等を活用した歯・口の健康づくりに関する啓発・普及 ・8020運動の実施		
市町村	・栽培体験・収穫体験等への協力 ・各種母子対象食育関連事業の実施	・学校行事への協力 ・各種食育関連事業の実施	・学校行事への協力 ・各種食育関連事業の実施	・各種イベント等を活用した食に関する情報の提供 ・健康づくり事業の実施 ・地産地消の推進 ・郷土料理等の伝承 ・地域食材の普及等	・食に関するボランティアの育成 ・高齢者栄養改善事業の実施	
国			・東北農政局食育表彰の実施 ・食の安全に関するリスクコミュニケーションの実施	・食育シンポジウムの開催 ・食育講座等への講師派遣		
県の主な取り組み	・「はやね・はやおき・あさごはん推奨運動」の推進 ・乳幼児フツ化物集団塗布	・おやこ歯みがき教室の実施 ・あさごはんコンテストの実施 ・海の先生派遣事業の実施 ・大崎地域「田んぼで学ぼう」支援事業の実施 ・はやね・はやおき・あさごはんクアアール配信 ・「はやね・はやおき・あさごはん推奨運動」の推進 ・田んぼの楽校協働推進体制整備支援事業の実施 ・グリーン・ツーリズム促進支援事業の実施 ・子どもの農業体験学習推進事業の実施 ・学校給食地場野菜等利用拡大事業の推進		・すこやか子育てテレホン相談の実施 ・子育てサポーター養成講座の開催 ・おやこ歯みがき教室の実施 ・子育てに負担感を抱く母親等を対象とした講演会等の開催	・働き盛りのメタボリックシンドローム対策戦略事業の実施	
	・みやぎ21健康プラン推進事業の実施 ・おおさき「食」を語るフォーラムの開催 ・みやぎ食育コーディネーターの養成 ・登米の味覚教室の開催 ・みやぎの食育通信の発行	・8020運動推進特別事業の実施 ・食育・地産地消推進事業の実施 ・みやぎ食育アドバイザーの登録 ・ホームページを活用した情報発信	・県民栄養講座の開催 ・みやぎまるごとフェスティバルの開催 ・みやぎ食育活動実践者表彰の実施	・健康づくりサポートおもてなしの店の普及 ・健康づくり野菜をもっと食べよう!!キャンペーン2008の実施 ・みやぎ食の安全安心県民総参加運動の推進 ・仙台地域食育推進セミナーの開催 ・気仙沼食育シンポジウム2008の開催	・食中毒予防啓発事業の推進 ・食育推進県民大会の開催 ・みやぎ食文化伝道士の認定	